

# 直方ミニバスケットボールクラブだより

2019年度から2020年度へ

～ミニバスケットの「これまで」と「いま」、そして「これから」～

41年前から小さな一歩が歩み出された  
39年前から携わりはじめた  
なかま（同志）とともに長く道をつくってきた



すべての子どもを大切にすること  
子どもの育ち、学び、そしてつながりを大切にすること  
子どもと私（指導者）、そして保護者の関係性を大切にすること

大きく社会が変化しはじめると、その影響は  
子どもに、保護者に、指導者に、クラブに、学校に、  
ハードにも、ソフトにも及びはじめた

社会が急速に変化しはじめると  
あらゆるものの変化が加速しはじめている  
これまでになかった変化が起きている

いつの頃からか、周囲の急速な変化に、歩みを緩めるようになった  
同調して走るのをためらうようになった  
新たにつくられたルールに子どもたちを乗っけて走ることに危うさを感じるようになった

ここで一旦歩みを止め、これから歩むべき方向を見定めたい  
これまで大切にしてきたものを大切にできる場を大切にしたい  
そのために、これまでつくってきた道はずれ、またあらたな道をつくりはじめる

理念と価値観を共有できるなかま（同志）とともに  
それぞれを尊重し、ゆるやかにつながりながら  
あらたなチャレンジの場を創造したい

それを必要とする子どもたちがいる間は、ともに歩む



(直方ミニバスケットボールクラブ 監督 藤田勝博)